

この四月一日、鮮やかな新緑に包まれた檜原神宮の森と、雄々しくそびえる畠傍山に抱かれた聖心学園中等教育学校に着任させていただきました。学校創立から十年を経た今春、後ろ姿で後輩たちを導きながら、新しい姿で学校を卒業なされ、有意な人材として社会に羽ばたかれようとする学生が大学を卒業なされました。私は、まさに歴史と伝統の第二ステージが開かれんとする、聖心学園中等教育学校の意気込みが強く感じられ、その重責に身の引き締まる思いをしてい

ごあいあい

互いに高め合う仲間

学校長 森田 真康



ます。

さて本校は、創立当初から「生徒の学力を徹底して伸ばす。」という指導方針のもと、併せて「きちんとした生活習慣を身に付けさせる。」ことを明確に打ち出されてきました。それをうけ、居残り学習を含め授業で十分な学習時間を確保できるよう、また、德育や「論語学習」を通じて、日々の挨拶や礼儀作法など「礼節」を重視する指導を柱にして、きめ細やかな教育を推し進められてきました。

私も、「学校は学力を身に付け、社会に役立つ人間を育むところ」だ

第一号

聖心学園中等教育学校
学校通信「たけのこ」

発行 聖心学園中等教育学校
檜原市八木町二二二番地
平成二十五年五月三十一日発刊

選字 田中 七葉書

礼節 誠実 勇氣 創造

今はあどけない生徒たちが、タケノコのようにすくすく育ち、しなやかでまっすぐな竹に成長してくれることを願って、学校通信を「たけのこ」と名付けました。

1. 平成25年度を迎えて	P1
2. 職員の異動	P1 ~ P2
3. 入学式	P2
4. 離着任式・始業式・対面式	P2
5. 新入生歓迎会	P2
6. 新着任先生方の紹介	P3 ~ P5
7. 宿泊研修	P6
8. 体験の日	P7 ~ P8
9. SSP	P8 ~ P9
10. 校外学習	P9 ~ P10
11. 各分掌より	P10



さらなる問題解決に挑むなど、一連の探求的な学習を通じて本当の学力が身に付いていくものです。学習は一人だけでするものとは限りません。いわば、グループによる学びの特徴であると思っています。その意味で「学校は、仲間とともに学び合い・互いに高め合うところ」でもあります。

これからも、仲間とともに確かな学力を身に付け、互いに高め合うことのできる学校になるよう、教職員一同が一丸となつて取り組んでまいります。保護者の皆さまをはじめ関係者の皆さま方、引き続き、聖心学園中等教育学校の教育にご理解を賜り、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

学力を身に付け、仲間に高め合うことのできる学校になるよう、教職員一同が一丸となつて取り組んでまいります。保護者の皆さまをはじめ関係者の皆さま方、引き続き、聖心学園中等教育学校の教育にご理解を賜り、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

◎教職員の異動

四月一日、平成二十五年度の教職員異動が発令されました。幹部異動とともに紹介いたします。

○新着任

学園長 中澤 弘

(前聖心学園中等教育学校 学校長)
学校長 森田真康
(前奈良県立畠傍高等学校 学校長)

○離任教員

成田裕政 先生 (社会)

松尾 彩 先生 (社会)

松村衣利子 先生 (英語)

以上三名

○新着任教員

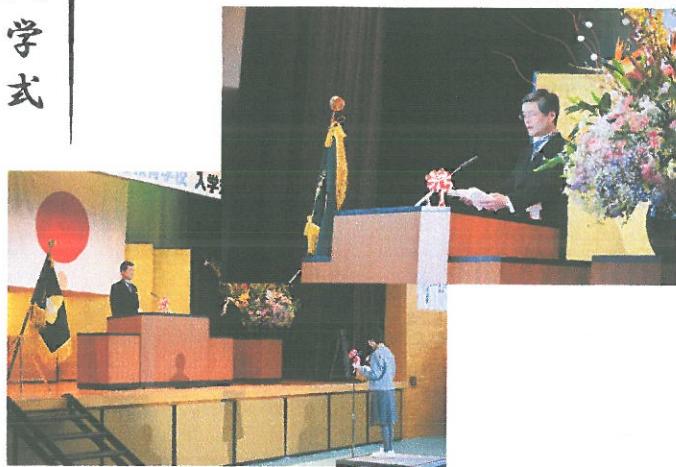
和久田詩子先生	(国語)
吉澤陽先生	(社会)
米田辰夫先生	(数学)
藪下浩嗣先生	(理科)
椿本彩先生	(理科)
西堀健志先生	(英語)
愛智みちる先生	以上七名



平成二十五年度 入学式

十一期生 五十七名を迎える

四月三日、学校法人聖心学園のキャンパスでは、サクラはじめコブシやレンギョウやユキヤナギなど春を告げる花々が一斉に咲き誇っているこの美しい日に、本校はめでたく第十一回目の入学式を迎えることとなりました。



新しい出会いを
大切にしよう！

離着任式・始業式・対面式

平田静太朗理事長先生、中澤弘学園長先生をはじめ多数の来賓の皆様と新入生の保護者の皆様方のご臨席を得て、本校職員と新二・三年生の在校生が見守る中、五十七名の新入生は森田真康校長先生より入学の許可を受け、本校の一期生として新しい生活のスタートを切りました。式場内の盛大な拍手に迎えられ、緊張した面持ちで入場した新入生も、入学許可の

呼名では大きな声で返答し、代表で宣誓を述べた一組のアルバレス・グラシア・御愛さんも落ち着いた態度で終始し、それぞれが本校での初めてのつとめを立派に果たしてくれました。新入生の諸君には、今日のこの感激を忘ることなく、森田新校長先生が式辞で述べられていましたように、高い目標を掲げて努力していくことを願っています。

平田静太朗理事長先生、中澤弘学園長先生をはじめ多数の来賓の皆様と新入生の保護者の皆様方のご臨席を得て、本校職員と新二・三年生の在校生が見守る中、五十七名の新入生は森田真康校長先生より入学の許可を受け、本校の一期生として新しい生活のスタートを切りました。式場内の盛大な拍手に迎えられ、緊張した面持ちで入場した新入生も、入学許可の

呼名では大きな声で返答し、代表で宣誓を述べた一組のアルバレス・グラシア・御愛さんも落ち着いた態度で終始し、それぞれが本校での初めてのつとめを立派に果たしてくれました。新入生の諸君には、今日のこの感激を忘ることなく、森田新校長先生から生徒達へ、着任のご挨拶がありました。

また始業式では、森田校長先生よりそれぞれの学年に対して励ました期待の言葉が述べられ、生徒達も気持ちを新たに引き締めながら拝聴していました。新入生の諸君には、今日のこの感激を忘ることなく、森田新校長先生が式辞で述べられていましたように、高い目標を掲げて努力していくことを願っています。

放送委員である三年生の戸上さんと矢渡さん、具志堅さんと吉田さんの司会により進められたこの集いで、副校長先生のご挨拶のあと在校生を代表して三年一組の宇野一誠くんより歓迎の言葉が述べられ、必修クラブや十四の部活動の代表者が趣向を凝らしながら次々に演技を披露し、新入生に活動の一端を紹介しました。

新入生歓迎会

最後の対面式では宏林教頭先生のお話のあと、新入生と在校生が向かい合い、初めてのご対面です。在校生を代表して三年生の岡島奈美さんより歓迎の言葉があり、新入生を代表して植村友絵さんからお礼の言葉が述べられました。そして在校生代表より一年生の各クラスの代表に花束が贈呈されると在校生から一斉に大きな拍手がわき起こり、すべての式典が滞りなく終わりました。良き友との出会いは一生の宝です。これを機に同窓生としての強い連帯感と厚い友情が、きっと生まれることであります。また、中澤校長先生同様輝かしい経歴をお持ちの森田校長先生には、十一年目を迎えた本校に新しい風を吹き込んでいただくようご期待するところです。

続いて、本年度着任される七名の先生方のご紹介があり、代表して米田先生から生徒達へ、着任のご挨拶がありました。

また始業式では、森田校長先生よりそれぞれの学年に対して励ました期待の言葉が述べられ、生徒達も気持ちを新たに引き締めながら拝聴していました。また、式後に発表されたり一人一人に、生徒達の素直な反応が表れ、少し和やかな雰囲気に包ま

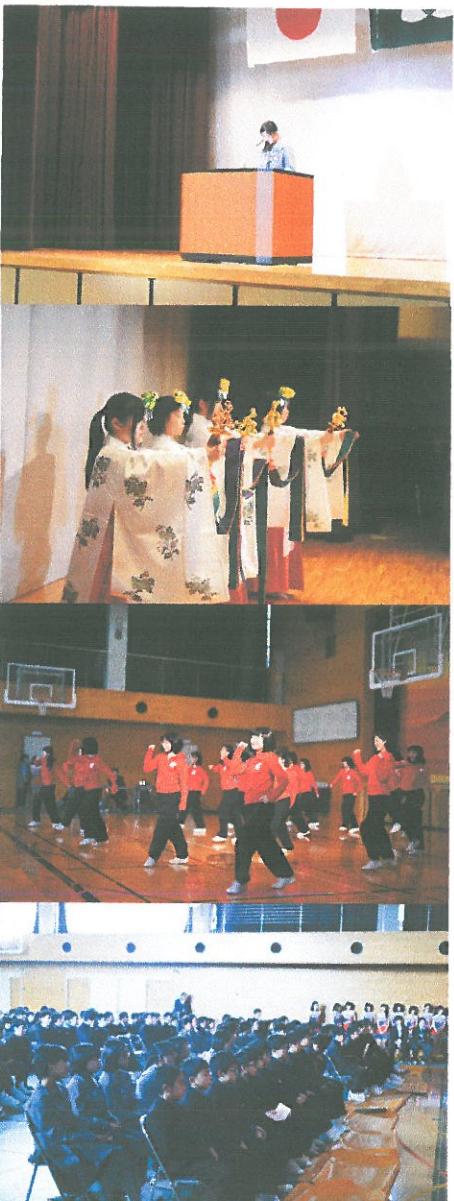
また、クラブ紹介の合間に五年生の東本智将くんが「近鉄沿線の駅名」を、三年生の関菜々子さんと岡島奈美さんが「古事記の撰録・神々の名前」を暗誦してみんなを驚嘆させていました。

最後に、新入生を代表して一年一組の金子萌奈さんがお礼の言葉を述べて、歓迎会が終了しました。

新着任教員紹介



和久田 蒔子 先生
(国語科)



けることに幸せを感じています。

大学では近現代文学を専攻しており、安部公房や、村上春樹、宮沢賢治が特に好きでよく読みます。それから、サンテグジュペリの「星の王子様」や、ヘルマン・ヘッセの「デミアン」、カフカの「変身」など外国文学も好きです。

趣味はムーミンのDVDを見るごとです。いつかムーミン谷に行つて、スナフキンのように釣りをしたいと思っています。

はじめまして。四月に着任いたしました和久田蒔子（わくだまきこ）です。教科は国語で、二年生の学年係と国語B、三年生の国語総合、六年生の入試現代文を担当しています。

今年の春に京都から奈良にやってきました。奈良は、和歌にも数多く詠まれ、そして今でも豊かな自然が残る土地です。そのような場所で生徒のみなさんと古文を共に学んでい

生徒のみなさんへ：どうか国語を自分に関係のないものと思ってしまわないでください。読書の楽しみは、話を楽しむだけではありません。本には当時の人の価値観や、考え方方が表れます。それらを読むことは昔の人々との対話を楽しむことになります。自分が今抱えている悩みを受け止めてくれる、そしてもつと深く考えさせてくれる素敵な文章と一緒に出会っていきましょう！これからよろしくお願ひいたします。

はじめまして。今年度着任した社会科の吉澤陽です。宮城県仙台市で生まれ、高校までかの地で過ごしました。仙台といえば牛タン！をとくに好んで食べることもなく、サッカー（と勉強）に明け暮れた日々でした。思えば、慶長遣欧使節を派遣した藩祖伊達政宗公の影響からか、工藤平助・林子平らを輩出したわが故郷は、「未来」と「世界」を視野に、自主自立の精神に満ちていたのだと思います。いつしか私は上洛を目指すようになり、千年の都・京都に降りたりました。そして、かつて先人たちが目ざした京都御所の横を自転車で素通りする日々のなか、日本の伝統と文化の魅力にとりつかれ、これを多くの人に伝える仕事を志すようになりました。数年の講師経験を経て、今春、日本国建国の地に位置するこの学校にたどり着くことができ、何か運命のようなものを感じています。

います。着任してはや二ヶ月ほどが経過しましたが、三年生には世界史、四年生には地理、五年生と六年生には政治・経済、部活動は剣道……と、時空・空間を縦横無尽に奮闘する充実した毎日を送っています。

ところで、生徒諸君、みなさんは「世界」を見すえた「未来」の夢がありますか？ぜひとも、世界を舞台に戦えるような誇りある将来像をもち、それに向かって進んでください。そして忘れてならないのは、真に国際的とは、自分の国を、また自分自身を知ることであるということです。日々の勉強の究極の目標はそこにあると私は思います。将来、自分たちの仕事やなすことには誇りをもち、この国にも誇りをもつ、そんな人間に成長してほしいと心から願っています。それでは、よろしくお願ひします。



吉澤 阳 先生
(社会科)

米田 辰夫 先生
(社会科)



聖心学園中等教育学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、初めまして。本年度から本学園でお世話になります米田です。よろしくお願ひいたします。

私は人生の歩みの中で、「縁」というものは本当に不思議だと感じています。この地球という広大な地で、宇宙の時間からみれば、コンマ何秒にも満たない中で、人と人が「出会う」ということは奇跡的な確率だからです。だからこそ「出会えた意味」を大切にしなければならないと思っています。それは、自分の損得を中心と考えがちですが、相手を中心に自分を見つめると、また、違った自分の役割に気付くことが出来ると思います。「自分はこの相手に対しても何が出来るのだろうか」「相手にとって、自分と出会った意味はなんだらうか」という視点です。相手の立場に立って、自分と出会った意味を考えた場合、時には相手の気分を害してでも、正しいと思つたことを諭していくことが、本当に愛情ある接し方だと思っています。

私は、このご縁をいただいたことに感謝し、お互いに最良のご縁となるように、日々、切磋琢磨していきたいと思っています。



藪下 浩嗣 先生
(数学科)



初めまして。今年四月に聖心学園に着任した数学科の藪下浩嗣と申します。一年の幾何、三年の数学Ⅰ、四年の数学Ⅱを、部活はバドミントン部を担当します。大学を卒業後、社会人生活を経て、数学の教員になりました。現在、休日はショッピングや映画を専門として研究しています。部活動にも精力的に取り組み、

私は行ったり、読書をしたりすることが楽しみです。最近見た中で良かった映画は『ダイ・ハード5』で、はらはらしながら見ました。ブルース・スワイルズ格好いいですね。ところで着任し二ヶ月が経ちました。日々、学ぶことがたくさんあり、新たな気持ちで臨んでいます。楽しむ心を持ちで臨んでいます。樂しむ心を持ったままです。また、生徒達とのコミュニケーションも大切にしていることがあります。気軽に声を掛けてくださいね。よろしくお願ひします。

着任してから早くも二ヶ月が経みました。授業や部活動で直接関わる生徒のみなさんだけでなく、普段全く接点のない生徒のみなさんと話す機会が増え、聖心学園の温かさを感じる毎日です。奈良県橿原市で大和三山に囲まれて育つた私にとって、聖心学園で日々を過ごすことができるはとても幸せなことだと感じています。縁あって聖心学園に集まつた仲間として、一日一日をしようと大に過ごしていきます。どうぞよろしくお願ひします。

椿本 彩 先生
(理科)



みなさんはじめまして。本年度四月より理科教員として着任しました椿本彩(つばきもとあや)です。この一年間は三年生の化学基礎と物理基礎、四年生の理系化学、六年生の入試演習化学と私立理系化学の授業を担当します。また、六年生の学年係として、放課後はバスケットボール部と筝曲部の副顧問としてみなさんと接することになりました。

西堀健志 先生
(理科)



初めまして。今年四月から聖心学園中等教育学校に着任した西堀健志(にしほりたけし)と申します。教科



は理科で、一年生の理科I分野、三年生の生物基礎、四年生の文系化学、理系化学、文系生物を担当しています。専門は化学で文系生物を担当しています。私自身は中学時代に野球部に所属し、高校・大学ではクラブの方に所属しておらず剣道は未経験ですが、体を動かすことが非常に好きなので自分もクラブ活動と一緒に参加して生徒たちと汗を流しながら頑張つていこうと考えています。趣味は料理（特に中華料理）と野球観戦（プロ野球は阪神ファンです）で、時間に余裕のある時には、休日に家族や友人に料理をふるまつたり、高校野球や大学野球、プロ野球を観戦しに行っています。着任して二ヶ月が経ちましたが、私自身もようやくこの学校での生活や雰囲気にも慣れ、日々、試行錯誤の連続でありながらも毎日の学校での生活を楽しんでいます。物事には、成功体験のみだけでは見えてこない、失敗したからこそ見えてくる部分がたくさんあります。大きな視点に立って、新たなことに積極的に挑戦していきたいと思います。生徒の皆さんも、この学校での生活を大いに利用し、様々なことに挑戦してください。

愛智みちる 先生
(英語科)



はじめまして。四月に着任しました愛智みちると申します。教科は英語で、四年生の学年係とコミュニケーション英語Ⅰ、六年生のリーディングを担当しています。

大学では英語の音声学を専攻して、英語らしさとは何なのか?という点を日本語と英語の音声学的違いを比較しながら学んできました。私が音声学を専攻した理由は、外人みたいな英語が話したい!というかつて、英語への憧れからです。小さい頃から外人に憧れを持つていて、自然と洋楽を聞くことや、海外ドラマを観ることが好きになっていました。この憧れが、私が英語を好きになつたきっかけです。

次に、部活の顧問についてですが、私はダンス部の顧問をさせていただいているります。私のダンス歴は5歳の頃から中学生までクラシックバレエを習っていました。それから大学に入るまではダンスからは離れますが、大学を入学してからはチアダンスのサークルに入り、また違った

形でダンスにふれてきました。チアダンスはアクロバティックなイメージがあるかとは思います。踊る方がメインです。ダンスを生徒と楽しめながら指導をしていきたいと思っています。

生徒のみなさん、充実した学園生活にしていきましょう!よろしくお願いします。

後期課程宿泊研修

後期課程（四年生）になつて初の学校行事となる「宿泊研修」を、四月十六日から十七日（一泊二日）の日程で、『国立曾爾青少年自然の家』で実施しました。

まず初めに、後期課程としての自覚と自主性の育成を促すために、浦前副校长先生や教務部長の山下先生からお話を頂きました。生徒達は、真剣な眼差しで耳を傾け、重要なポイントをメモしていました。

また、両日とも好天に恵まれ、屋外で実施したオリエンテーリングやフィールドアスレチック・野外炊飯も滞りなく実施できました。日常から解放され、青空の下でクラスの仲間と活動することで、助け合いの精神を学び、協調性と仲間づくりの重要性を会得してくれたものと思います。特に二日目の野外炊飯では、慣れない薪割りや火熾しに苦戦する女子生徒を男子生徒が助け、調理に入ると今度は女子生徒が力を發揮する



強は言うまでもなく、数々の困難に遭遇することだろうと思います。そんな時、今回の研修で手を取り、お互い励まし助け合つたようだ。クラス・学年が一丸となつてその壁を乗り越えてくれることと、心から期待しています。一泊二日という短期間ではありました。

夜のプログラム「キャンドルサービス」では、プログラムの成功のカギを握っているといつても過言ではない「火の女神」や「營火長」などの役割をそれぞれの生徒が立派に務めてくれました。そのかいあって、クラスの枠を越えて学年全体が一つとなつて活動に取り組むことができ、大盛り上がりの「キャンドルサービス」になりました。

等、みんなで協力し合いながら焼きそば作りに励む姿が大変印象的でした。そして、苦労して作った焼きそばの味はやはり格別で、野外炊飯場のあちらこちらで笑顔がほころび、口いっぱいに焼きそばを頬張り、笑い声が絶えませんでした。



が、この宿泊研修を通して、生徒たちは集団生活の中で自分がどのような行動を取るべきか感じ取つてくれたとも思います。その気持ちを大切にし、日々の学校生活中においても後輩たちの見本となるよう行動してもらいたいです。



二十五日、権原神宮前駅に集合し、バスで出発しました。全員元気いっぱい、車内はすぐにたいへんにぎやかになり、クラスを超えて仲良く交流を持つことができました。

琵琶湖博物館では、琵琶湖の成り立ちや自然環境、生活とのかかわりについて熱心に観察したり、資料を集めた

四月二十五日より二泊三日の日程で、琵琶湖畔、休暇村近江八幡にて新入生宿泊研修を実施しました。
第一期生より続くこの研修は、本校生としての自覚をもつことや、集団生活を通した仲間作り、琵琶湖博物館でのテーマ別学習とレポート作成を主な目的としています。

新入生宿泊研修



り、メモを取つたりしていました。昼食後、学芸員の方から約一時間、琵琶湖についての講義を聴かせていただきました。特に何百万年もの間に琵琶湖が北上してきたという話には、とても興味をもつたようで、たくさん質問を投げかけっていました。

宿舎に到着後、オリエンテーション、夜は湖畔でキャンプファイヤーをし、各クラスの歌を披露したりゲームをし、たいへん盛り上がり



二日目はレポート作成の後、飯盒炊さんでカレーを作りました。飯盒を仕掛ける前に木を燃やし切つてあわてる班、ジャガイモやニンジンを大きく切り過ぎてなかなか火が通らない班、一生懸命火の番をする生徒、ゴミ汚れたものを黙々と洗う生徒、ゴミを片付ける生徒、それぞれ自分が出来ることを行い、出来上がったカレーをおいしそうに食べていました。

低気圧の接近で風や雨が強くなり、楽しみにしていた筏作りが危ぶまれましたが、インストラクターの方々のご指導や細かいご配慮のおかげで、琵琶湖に漕ぎ出すことができました。

寒いくらいでしたが、歓声をあげ生き生きした表情で元気に取り組み大喜びでした。

最終日は琵琶湖畔の清掃を行い、予定通りの日程をこなして帰路につきました。権原神宮前駅で、校長先生や保護者の方のお迎えを受け、全員元気に研修を終えることができました。

その後、おなかをすかせた生徒たち(+教員)はハーブ園の近くにあるANAクラウンプラザホテル神戸へ移動。最初はやや緊張気味でしたが、ホテルの方の丁寧な説明を聞きながら、楽しい食事の時間を過ごすことができました。

学んだテーブルマナーを忘れず、さまざまな機会に活用してくれるることを願っています。

体験の日

二年生の第一回体験の日は、

「布引ハーブ園」見学と

「洋食テーブルマナー」体験です。

2 年生



当日は渋滞のため、ハーブ園への到着が遅くなり、園内での見学時間は短くなりました。晴天のもと、さまざまな花が満開で、生徒たちはハーブに直接触れ、ハーブのにおいを楽しみ、神戸の街を見下ろすことのできる足湯を楽しんだり、遊具で遊んだりして、思い思いの時間を過ごしました。



「平安神宮・六盛・京都国立近代美術館」

毎月心待ちにしている体験の日。

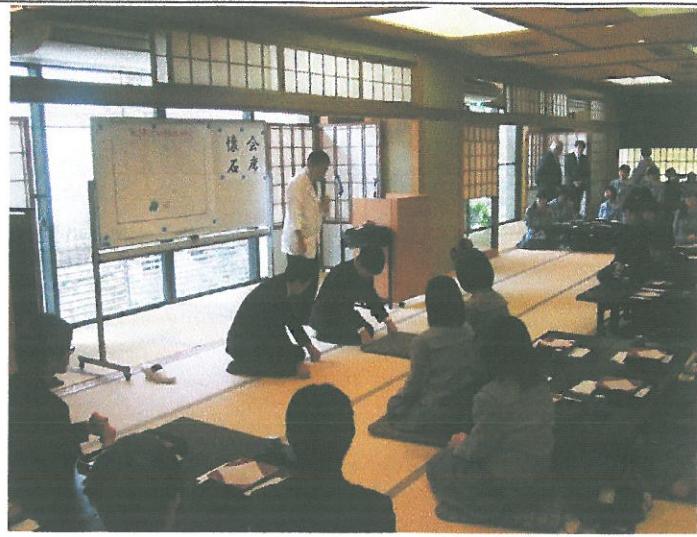
三年生の第一回体験の日は四月二十六日、京料理「六盛」での和食作法講習と平安神宮を訪れました。



3 年生

少し天気が心配されましたが、移動中は雨に降られることなく、全行程天候にも恵まれました。まず、権原神宮前駅に集合した三年生百名は、バスにゆられて約一時間半後に平安神宮の大鳥居をくぐりぬけました。午前中は芸術鑑賞と日本文化の体験です。京都国立近代美術館で狩野芳崖さんの「悲母観音」等の作品を鑑賞し、その後、隣接する平安神宮の神苑で動植物の観察や建築物を見学し、朱色と緑色、空の青色に包まれた綺麗な空間で一時を過ごしました。そして、いよいよ午後からは、メインの「和食のマナー講習」

平安神宮から北西方向に少し歩いて行くと京料理の老舗「六盛」の玄関先でお店の方が出迎えて下さいました。奥の座敷の広間にたどりつくと、生徒たちは少し緊張気味に正座をし、調理長様より和食の様々な作法を教わりました。座敷に上がる時の靴の脱ぎ方や襷の开け閉め、お茶碗・お箸の持ち方や割り箸の割り方、上座・下座など、一つ一つお手本を示しながら、丁寧にご指導いただき、京都の伝統と和を体験し、新たな発見の多い一日になりました。生徒たちが大人になつた時に思い出し、ぜひ自ら足を運んでほしいと思います。



第一回体験の日は、和食のマナーを学ぼうということで、料亭「六盛」に行きました。六盛に着くと、はじめに襷の開け方や閉め方、座布団の座り方など、一つ一つ丁寧に教えていただきました。例えば、襷を開ける時には少し左手で襷を開け、そこから右手で開けるといったようにです。私はそんな細かい所にまでマナーがあるということを知らなかつたので、とても驚きました。

それから、マナーに気をつけながら京料理をいただきました。桜をかたちどった『長芋桜』や『鰯味噌幽庵焼』など、春らしい料理がたくさん並んでいました。どの料理もとてもおいしかったです。私は和食のマナーに対して、最初はとても堅苦しいイメージを持つていました。しかし、マナー講習を終えてみると私が思っていたものと違い、とても楽しく為になるものでした。また、社会人になった時にこのマナー講習で学んだことを実践したいです。

三年三組 山本 萌



◆◆◆ 生徒の感想から ◆◆◆



特に私が印象に残ったのは「六盛」での和食マナー講習です。自分では分かっているつもりでしたが、実際に受けてみると知らないことが多いことに気が付きました。私が一番難しいと感じたのは、お箸の持ち替え方です。お箸を持ち替えるというだけのことにも、これだけの動きがあるのかと驚きと同時に少々大変に感じましたが、それほど苦にはならず将来きっと役に立つだろうと思いました。次回の体験の日もとても楽しみにしています。

三年一組 杉村葉月

S S P 修学旅行研修 — 志摩スペイン村 —

4 年生

四月二十六日に四年生は修学旅行研修の一環として、志摩スペイン村パルケ・エスパニャに行きました。この研修では、修学旅行後のS S P論文作成に向けての練習として、事後レポートの提出を課しました。



たけのこ



現地に到着したのが昼前で、長時間のバス移動に疲れた様子の生徒も見受けられましたが、昼食を取るとすぐにいつもの元気を取り戻していました。あわただしい昼食を済ませ、ガイドさんの案内のとくクラスごとに園内を散策しました。スペインを模した街並みを背に歩きながら、私たちが十一月に訪れるスペインの歴史や建造物の説明をして頂きました。帰校後に待っているレポート作成のためか、はたまた修学旅行の準備のためか、係の方の話を一言一句聞き漏らすまいと一心にメモを取っている生徒が数多く見受けられました。論文作成に向け、調べ学習の重要性を自覚する良い機会となつたのではないかでしょうか。

園内ツアーが終わると、生徒達お待ちかねの自由行動の時間です。みんな堰を切ったように、アトラクションに向かって一目散に駆けていきました。なかでも、ピレネーをはじめとするジエットコースターが人気を集めており、生徒たちの笑顔が印象的でした。帰りのバス移動を考えると気が重くなるようでしたが、幸い雨に降られることもなく無事に帰ることができました。



午後からの、手づくりワインナー教室での体験学習も、屋内で、最初はぎこちない様子でしたが、しだいに慣れてきて最後は美味しいワインナーが完成しました。美味しい食べべて、お土産も何本か持ち帰りました。また、体験学習後は、おみやげを買う生徒もいたり、バスに乗り込む前、会場の入り口あたりの「野天もくもくの湯」で、「足湯」につかって、疲れをとっている生徒もいました。日ごろの勉強の疲れもリフレッ

当日は、他の団体、高校生、小学生、幼稚園児などで、大変混雑した状況でしたが、五年生は私服での活動であつたため、屋内での食事、体験学習で、雨の中でしたが、大きな問題なく終えることができました。バーベキューでお腹がいっぱいになつたあとは、少し雨のやんだ晴れ間に、ミニブタ芸を見て楽しんでいた生徒もいました。



出発当初は晴っていましたが、バスを降りる頃には、ぽつり・ぽつりと雨が降り出しました。現地での活動は大雨の中での活動になりました。

当日は、他の団体、高校生、小学生、幼稚園児などで、大変混雑した状況でしたが、五年生は私服での活動であつたため、屋内での食事、体験学習で、雨の中でしたが、大きな問題なく終えることができました。バーベキューでお腹がいっぱいになつたあとは、少し雨のやんだ晴れ間に、ミニブタ芸を見て楽しんでいた生徒もいました。

5 年生

四月二十六日（金）、五年生として初めての校外学習となつた伊賀の里モクモク手づくりファームへの遠足は、出掛けは、バスの中で、男女に分かれての楽しい語らいの場として、晴天に恵まれての学校外での活動ということもあり、生徒たちは日ごろの勉強の疲れを忘れさせるかのような笑顔で楽しい時間を過ごしました。

校外学習

四月二十六日、この日はこの学年の全員で学校外に出掛ける最後の行事の日でした。目的は「『大学』を肌で感じよう」「息を抜こう」「思い出を作ろう」です。

まず、大阪大学豊中キャンパスへ。この時期は一回生にすれば授業が始まつたばかりの四月。学内は人、人、人。昼休みになれば、人、人、人、…、人。国公立大学で学生数No.1の大阪大学を実感することができました。

また、生徒の中には、大學生に積極的に話しかけたり、話しかけられたりしている者もあり、「早く大学生になりたい!」という気持ちが更に向上了したようです。その後は万博公園へ移動。

自由に遊んでよし!というように決めていましたので、即自前のバットとグローブを持ってグランドへ行く者、園内をゆっくり散策する者、民族学博物館で鑑賞する者と様々。ただ、午後から生憎の大雨だったのが残念であります。まだか誇らしげな気分になりました。



6 年生

本校では環境美化部を設置し、「美しい心は美しい環境の中で育つ」という認識のもと、校舎内外の環境保持の徹底を図っています。校内美化として、毎日の清掃活動はもちろんのこと、毎月一回安全点検の日を設け、各クラスの環境美化委員が、担当場所の清掃用具や自教室の物品の破損などを点検しています。

日頃使用している教室や備品の大切さを認識させていきます。また、毎月一回水曜日、各クラスごとに校外清掃を実施し、学校から橿原神宮前駅と、橿原神宮西口駅までの通学路の清掃を行っています。普段通学している道路や近隣への感謝の気持ち、ボランティアの精神を養っています。

更に、本校では校門前にフラー プランターを設置しております。フラーープランターの管理は生徒全体が主体となり、花の苗木の植え替えや水遣り、除草などを行っています。昨年の秋に植えてくれたチューリップの球根が、今年4月綺麗な花を咲かせています。花の水遣りをした後の充実感や、「きれいな花を咲かせてほしい」と花と触れ合うことで心が和む」といった気持ちを育てています。環境美化部としては、今後も校舎内外の環境保持を行うことで、生徒に備品管理や奉仕活動の一端を学んでもらい、自発的な清掃意識の確立を目指して行きたいと思いま

環境美化部

